

2023年度
学校だより
第11号

しもね

牛久市立下根中学校
令和5年12月8日
文責 校長 立花勝行

いよいよ2023年も終わりを迎えようとしています。2023年は皆様にとってどんな年だったでしょうか？もうすぐ2024年です。皆様にとってきっとよい年であるといいと思っています。

10月には体育祭。11月には華秋祭。そして12月の授業参観と大変お世話になりました。また、地域の皆様におかれましても、行事の際の車の誘導等、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。来年もどうぞよろしく願いいたします。

『いざ 鎌倉』 校外学習

～ 自己啓発 学びを生きし協力して楽しめる校外学習 ～

11月24日（金）、2年生が鎌倉において校外学習を実施しました。本年度、鎌倉で校外学習を実施するには2つの理由があります。1つ目は、今の2年生はコロナの影響で6年生の時、鎌倉への修学旅行を実施できなかったからです。2つ目は、自分たちだけの力で電車やバスに乗ったり、場面に合わせた行動を学んだり、公共の場でのマナーを実際の体験の中で学んでほしいという思いからです。生徒達にとって貴重な体験であり、机上では学べない学習ができたと思います。



学校フォーラム ～「幸せ」とは？ 学校生活を「幸せ」にするためには？～

「学校フォーラム」は生徒一人一人が生徒会の一員であることを自覚しながら、よりよい下根中学校生活を自分たちの手で築きあげていこうとする気持ちや態度を高めるために、毎年、生徒会が中心となって開催している意見交換の場です。今年は、「幸せ」とは？学校生活を「幸せ」にするためにはなどをテーマに縦割りのグループで、3年生のリーダーシップのもと、実施されました。「安心して過ごせる」「いじめがない」「みんな同じが幸せ」など活発に意見が交換されました。少しでも「世界一幸せな学校」に近づけるよう、一人一人が意識して学校生活を送ってくれることを期待しています。



和食の日(地産地消献立) ～ JA 水郷つくば様より河童大根の提供 ～

11月24日（金）は「和食の日」でした。献立は、ごはん、牛乳、いわしのかば焼き、レンコンサラダ、牛久野菜の豚汁です。そして、この日は、「地産地消献立」の日でもあります。豚汁に使われていた大根は、牛久産の河童大根でした。JA 水郷つくば様よりご提供いただいたのですが、さらにこの日は、河童大根の生産者の方が給食を食べに来てくれました。3年4組の生徒達は、実際の生産者の方の顔を見ながら、とてもおいしそうに大根を食べていました。



家庭教育学級

～ 自己肯定感を高める3つの方法 ～

11月28日（火）に本年度2回目となる家庭教育学級とその閉級式が行われました。2回目の家庭教育学級は講演です。講師の先生は「未来factory 勇気づけの専門家 片野靖久 様」です。自己肯定感を高める3つのポイントについて話をしてくださいました。とてもわかりやすいお話で生徒達も真剣に聞き入っていました。そして閉級式。役員の皆様、1年間本当にお世話になりました。




新入生保護者説明会・新入生体験入学 ～ 本校の目指すもの ～

本年度はいつもより早く「新入生保護者説明会」を実施しました。また、新入生の体験入学も一緒に実施をさせていただきました。その中で、昨年と同じなのですが「本校の目指すもの」として次のような話をさせていただきました。再び掲載させていただきます。

① 本校の教育

文部科学省では
「主体的・対話的で深い学び」

牛久市では
「一人残らず質の高い学を保障する」
「夢中」




② 牛久市の教育

一人残らず質の高い学びを保障する

「安心」と「夢中」

→ 学校づくり




③ 本校の教育

(1) ケアリングコミュニティの構築
(2) ラーニングコミュニティの構築

↓


本校の学校経営の「核」である授業で構築する



④ 本校の教育
ケアリングコミュニティ

「支え合う」集団
「リスペクト」し合う集団
誰かの役に立とうとする生徒

生徒一人一人の居場所 → 「安心」




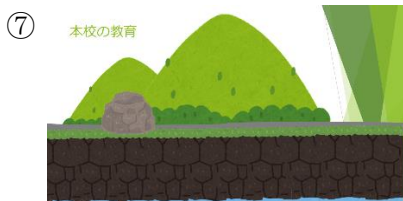
⑤ 本校の教育

ラーニングコミュニティ
「学び合う」集団



⑥ 本校の教育

では、本校の学校経営の「核」である授業で、どのようにしてケアリングコミュニティとラーニングコミュニティを構築するのか・・・？

岩が落ちて道路を



そこへ1台の車と人でもどうしようもない



2台目の車

この2人には**対話**と、解決しなければならぬので、**自主的**に解決しようとする**思考**が生まれます



3台目
さらに対話と思考が



4台目
さらに対話と思考



そして、全員で岩を動かして問題は解決します。



岩は生徒達にとっての課題です。高い課題であるだけに力を合わせなければなりません。しかし、高い課題だけに解決したときの喜びは大きく、達成感を感じることができます。その喜びや達成感が、お互いをリスペクトし支え合っているという気持ちを育むと考えています。また、全員で考えることで、思考が育まれ、全員の「学び」を保障できると考えています。

そして、全員で岩を動かして問題は解決します。